

## 教育活動とサービス

**動**物園は、動物の姿や生態の展示を通し、動物や自然、生命の理解に結び付く教育的活動を行う「いのちの博物館」と言えます。

レクリエーションの場でもある動物園では、展示を難しく捉えるのではなく、動物との出会いを通して、子どもは子どもの感性で、大人は大人の関心と知識で楽しみながら何かを感じ、分かってもらうことで一定の教育的な役割を果たしています。

来園者に、より効果的・効率的に多様な学びや刺激を提供する工夫は、動物園づくりにとって大切です。大森山動物園は、年齢や価値観も異なる来園者への教育的サービスを重要なものと捉え、様々な視点、テーマ、手法で力を注いできました。これまでの50年を振り返ると、教育活動を大上段に振りかざすのではなく、動物園がすべき自然の所作として行ってきたように思います。

明確に記録が残るのは、開園3年目の1975年に始めた一日飼育体験のサマースクールで、これは実際に動物と向き合う体験であり、仕事の大変さを体感するキャリア体験のようなものです。その2年後には動物を目の前にし、間近で生命を感じながら絵筆を取る写生大会も始まりました。写生大会は、秋田市造形教育研究会と秋田テレビとの共催で大森山動物園の代表的イベントとして大きく発展した教育プログラムになっています。



サマースクール

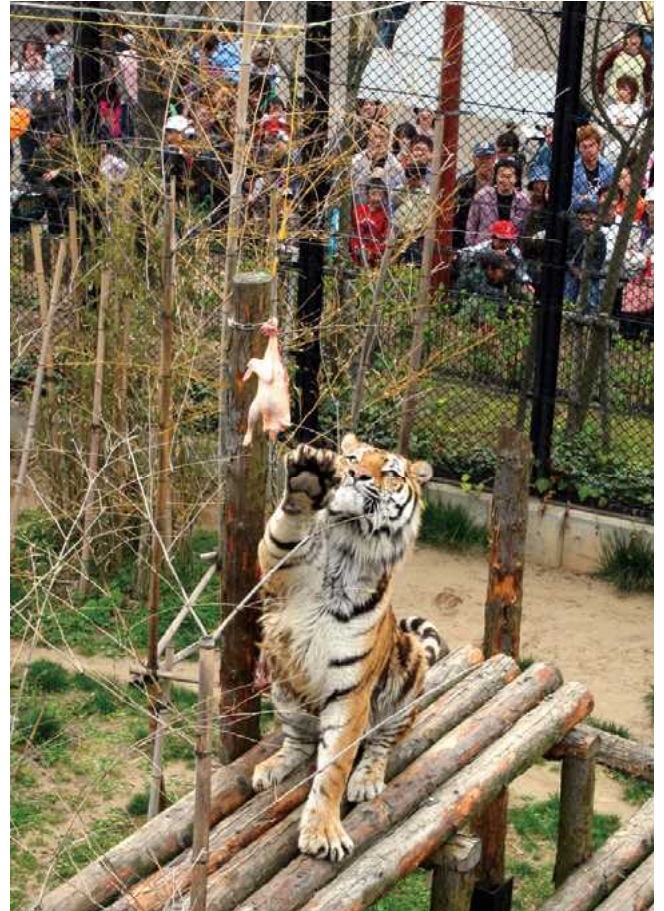


親と子のふれあい写生大会

こうした対象者限定の活動とは違ったサービスが始まったのが1980年代後半からでした。夏休みを中心に行われた「動物園親子教室」での動物の食事風景見学会、土日限定で手作りの囲いで行った「動物ふれあい教室」など一般来園者向けサービスが徐々に始まりました。これらは現在行っている「まんまタイム」や「エサやり体験」、「ふれあい教室」など教育的なサービスの原点でした。

来園者が動物園を楽しむ時、飼育員の解説やパフォーマンス

スによってぐっと動物が身近になっているように見えます。実に効果的なサービスといえます。こうした活動が盛んになったのは「王者の森」完成後の2003年頃からでした。トラやライオンの「まんまタイム」は大きな反響を呼び、2004年の日経トレンディの「行ってみたい動物園」の全国4位に選ばれました。以後、飼育員は様々な工夫を重ねて大森山の定番イベントに成長させてきました。



トラのまんまタイム

こうしたイベントに加え、ウルトラクイズ、ウォーククイズなどを開催し、楽しみながら学ぶサービスを考案しました。ウォーククイズでは獣医師が「ヒントマン」に変装して登場したほか、飼育員有志で結成した「アニマル戦隊ミルヴェンジャー7」の寸劇も来園者を大いに楽しませました。



ウォーククイズ



ヒントマン



ミルヴェンジャー7

これらのパフォーマンスとは別に、2013年頃には飼育員の発案で手作りしたユニークな動物解説板「どうぶつ学ぼーど」も来園者に好評で今につながっていますし、動物の健康管



理をありのままに見せる動物トレーニングの解説や「飼育の日」のイベントなども着実に成長してきた教育プログラムといえます。

また、来園者と動物の距離をできるだけ縮め、本物の動物を感じてもらうことも大事に取り組んできました。2007年頃から始まった、春と秋の動物ふれあいフェスティバルでの「動物パレード」は、人工育雛したイヌワシやフクロウ、インコなどを飼育員が手に乗せ来園者の目の前で観察してもらうサービスです。動物教育の始まりであり、動物園ができる教育サービスの原点ともいえます。感じ、知ることで人は興味を示し、動物を愛し、その保護にもつながります。

こうしたサービスとは異なりますが、野生動物保全に携わる関係者に参加いただいた公開シンポジウムなどもしばしば開催されました。2008年には園内のゼニタナゴの保全活

動を、2014年には環境省と一緒にイヌワシの未来を語る会など、2017年には高病原性鳥インフルエンザの発生を受け、その原因を考えるトークイベント「鳥を語る」なども来園者を変え行ってきました。

このほかに、地域の学校の教育プログラムに組み込まれた「飼料作物の栽培体験」、各学校向けの小動物との「ふれあい教室」、自然科学学習館とタイアップした「どうぶつサイエンス」、さらには近隣にある秋田公立美術大学との連携による「大森山アートプロジェクト」などで学生とともに動物園でのアートや芸術活動を進め、楽しく学べる場づくりにも力を入れてきました。

多様な教育サービスを作り、工夫し、実践することは大事な仕事であり、動物園の存在理由でもあります。



どうぶつ学ほーと



どうぶつパレード



トークイベント「鳥を語る」



どうぶつサイエンス



ユキヒヨウのトレーニング



ソウさん堆肥を使い、地元の小学生と飼料作物(スタックス)を栽培



ソウさん堆肥を使って栽培した飼料作物(スタックス)をソウにプレゼント



ふれあい教室